

事業所名 放課後等デイサービスえーる

支援プログラム（参考様式）

作成日

6年

12月

25日

法人（事業所）理念	法人：私たちは「共生社会」の実現に向けて、誰もがその人らしく暮らしてゆくための福祉活動を目指します 事業所：のびのびと自分らしく生きていくために							
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ●障がいのある児童が、放課後や長期休暇中の利用を通じて、自分らしく生きていくための基礎作りを支援します。 ●日常生活における基本的動作を身につけ、集団生活に適應できるよう、一人一人の児童の状況に応じた指導及び訓練を行います。 ●「家族と繋がる」「人と繋がる」「地域と繋がる」「将来に繋がる」などつながりを意識した支援を行います。 							
営業時間	最長	9時	0分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な通所を行なっていただきながら、生活リズムの安定や確立を目指した支援を行います。 ・家庭的な雰囲気を大切にしながら、導線の分かりやすさ・表示の分かりやすさを行うことで安定した生活が送れる支援を行います。 ・放課後の通所時には学校での様子をお聞きして、本人にとって無理のない支援や活動が組めるように配慮します。 ・通所時に「今日の調子」を伝える時間を設け、自分の調子を客観的把握ができるような訓練を実施します。 ・クッキングを通じて、器具の使い方や順番、ルールなど生活に必要なスキルを身につける支援をします。 ・一人一人のニーズに合わせた生活支援を行います。（排泄自立、安心できる場所の確保、整理整頓、着脱など） 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚運動を通じて、程よい刺激と心地良い感覚が覚えていけるような支援を行います。 ・繰り返し行える運動を通じて継続性や筋力の持続ができるように支援します。 ・本人の特性に応じたイヤーマフの使用などを行います。 ・ストレッチやダンスなど音楽に合わせて楽しく身体を動かす活動を通じて体の使い方の向上を支援します。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシステムの考え方を取り入れ、始めと終わり、何をどのくらいなどの把握や見通し、自立作業に繋がる認知形成を支援します。 ・SSTを通じて感覚や認知の偏りに対するリフレーミングを行います。 ・時間の理解や自覚性を促すためのスケジュール提示やタイムテーブルの確認による時間の認知形成を支援します。 ・タブレットを使用した「調べ学習」を取り入れ、考える力や実践する力、意欲の向上を支援します。 ・買い物活動等を通じて「計算機の使用」「お金の概念」「コミュニケーション力」など一人一人のニーズに合わせて支援を行います。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・通所時に「今日の調子」を伝える時間を持つことで気分や感情を伝えること（言語表出）やそれを受容してもらう経験を重ねます。 ・活動によって本人の社会性に応じた人数や特性に応じたグループを作ることで、よりコミュニケーションの取りやすい環境を設定します。 ・ルールや活動の流れを視覚化することで理解しやすい環境をつくります。 ・通所時の「今日の調子」やゲームや活動の中で「伝えることば」を増やしていける支援をします。 ・交替で発言するようなゲームや伝言ゲーム、聖徳太子ゲームなど伝える力と聞く力を伸ばす支援を行います。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・特性や年齢、発達に応じたグループ形成をし、ゲームや活動を通じて集団への意識やその中の自分の役割や立ち回りを考えたり、実行できるように支援します。 ・ゲームを通じて、人との距離感やより良い関係構築を考えることができるように支援します。 ・集団の中で役割や協同のある遊びを設定します。（見立て遊び・ごっこ遊びなど） ・個別活動を通じて、アタッチメント形成を行なっていきます。 						
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家族が安心して子育てができる地域の仕組みづくりを支援します。 ・就労やりフレッシュのために延長支援を行います。 ・おたよりや連絡帳を通じて、本人の事業所での様子が分かる支援をします。 			移行支援		<p>高校生：現場実習や社会見学を行ないながら、将来の自分をより意識していけるような支援を行います。</p> <p>中学生：地域の資源を活用した体験活動をしながら、地域との繋がりや利用の仕方など自立に向けた支援を行います。</p> <p>小学生：関係機関と連携しながら、地域での生活がより楽しく、安心できるものとなるような支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源マップの作成やエコマップの作成など、自立した生活を送るための準備を行います。 <p>※学年に捉われず、必要な支援を提供します。</p>		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブや学校など関係機関との会議や連携を密にはかり、本人にとってより良い支援の共有を行います。 ・学校休業日等に地域巡りを行い、自分が好む地域資源マップを作ったり、地域の資源の活用を支援していきます。また、活動時には事前に地域への発信を行い、地域協力の元、成功体験ができる支援を行います。 			職員の質の向上		<p>発達特性の理解のための研修を行います。</p> <p>将来を見据えた支援ができるように大人の施設の見学などを行い、いま必要な支援を見出します。</p> <p>チームアプローチの向上を目指します。</p> <p>SST等の技術の獲得を目指します。</p>		
主な行事等	サークル活動（文化活動：創作・運動活動：ポッチャ・卓球バレー・フライングディスク）：月1回程度 ⇒ 希望者のみで大会の参加や発表の場を目標にしていきます。 ふたば園まつり（物品販売）※その他地域のまつりへの参加出品 社会見学（相談事業所・ほっとわーく・就労事業所・工場や企業など） えーるまつり（他の放課後等デイサービスの利用者招待）							